

組織目標評価報告書（令和4年度）

部局名：

保健管理センター

部局長名：

岩崎良章

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>		
	目標に関連する 年度計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
学生への感染症教育の充実を目標として、特にパンデミック対策を中心に入学時のオリエンテーション及び共通教養講義の教材の改訂、海外派遣学生への感染症情報及び啓発資料の提供、病院実習を受ける医療系学生への感染症教育を行う。		入学時オリエンテーション、共通教養講義(岡山大学入門講座、健康スポーツ科学)では教材及び資料を改訂し、特に新型コロナウイルスを中心に感染防止対策及び予防接種を含む感染症教育を行った。 特に医療系の学生に対しては、予防接種を含む感染対策状況の確認とともに医療現場に即した具体的な感染対策について教育・指導した。
<b>②研究領域</b>		
	目標に関連する 年度計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
外部資金の獲得状況の向上を目標に、科研費をはじめとする外部資金の募集情報及び応募に関する周知、獲得のための講演会等の受講の義務化、応募進捗状況の確認を行う。		科学研究費の応募に関して周知、情報提供を行い、科研費獲得に関する講演会は全員受講し、資格を有する教員全員が科学研究費に応募した。研究協力課の情報を中心に、科研費関連に加えてその他の助成事業の公募情報を毎回周知した。
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>		
	目標に関連する 年度計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
本学の地域貢献の取り組みと位置付けて、教職員の家族、近隣の大学・専門学校生、近隣で希望する企業の従業員を対象として、新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種を実施する。		新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種の追加接種を本学の地域貢献の取り組みと位置付けて、近隣の大学・専門学校生、近隣で希望する企業の従業員、教職員の家族を対象として実施した。
<b>④管理運営領域</b>		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
1. より効率的な運営体制を目標に、業務運営や体制の見直しを行い、人員の確保及び業務分担の見直しによる業務の効率化を図る。 2. 大学拠点接種をはじめとした感染症対策のための常設接種会場等の接種体制を整備し運営する。		1. 大学拠点接種を継続して行うにあたり、大学病院よりダイバーシティ職員(医師)を非常勤職員学校医として雇用し、大学拠点接種を含むワクチン接種および減員となった教員(内科医師)のための外来補助などの体制を整えた。 2. 大学会館に常設接種会場(通称さくらルーム)を確保して接種体制を整備し運営することにより、新型コロナワクチンのオミクロン対応2価ワクチンを含む追加接種およびインフルエンザワクチン接種に対応することが出来た。
<b>⑤センター・機構等業務</b>		
	目標に関連する 年度計画の番号	センター・機構等業務における目標の達成状況
1. 新型コロナウイルス感染拡大防止を目標として、特に新型コロナワクチン接種をはじめとした感染症対策に関する情報を発信して啓発を行う。 2. 新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種として追加(3回目)接種に加えて初回(1回目・2回目)接種も含めてワクチン接種を継続する。 3. 各種感染症対策としての新たなワクチン接種体制の構築を進める。 4. メンタルヘルス対策の更なる強化を目標として、以下の取り組みを行う。 (1) ストレスチェックの更に円滑な実施を図るとともに、集団分析結果に基づく有効なメンタルヘルス対策を図る。 (2) 教職員のメンタルヘルス研修をこれまでよりも拡充する。 (3) 受入留学生及び外国人研究者が本邦において快適な生活を送ることが出来るよう、電話医療通訳サービス、精神保健福祉士(PSW)の有効利用による健康支援を行う。		1. 新型コロナワクチンの追加接種およびオミクロン対応ワクチン接種に関する通知を行うとともに、オリエンテーション、共通教養講義及び大学及びセンター独自のウェブサイトにおいて引き続き情報発信・啓発を行った。 2. 大学拠点接種として新型コロナワクチンを令和4年3月から9月にかけて追加(4回目)接種、5月から9月にかけて初回(1回目・2回目)接種、さらに、11月から令和5年3月にかけてオミクロン対応2価ワクチン追加接種を実施した。また、令和5年1月から3月にかけて、学内の感染拡大防止のために抗原検査事業を新たに行った。予防接種と抗原検査により、学生・教職員の感染症対策に大きな成果を上げることができた。 3. 新たな取り組みとして、予約システムを新たに開発・導入し支払いシステムも利用することにより各種感染症に対する有償のワクチン接種体制を整備した。これによりインフルエンザワクチンの接種を開始し、約1,000名に有償で接種できた。また、海外留学・渡航者のための渡航ワクチン相談室を新たに開設し、希望する学生・教職員に対応している。 4. (1) ストレスチェックはMoodleを使用して円滑に実施した。また、統計解析を含めたデータ集計結果をまとめた上で、事業場ごとの集団分析を行い、各事業場の安全衛生委員会で分析結果と対応を報告した。 (2) ラインケア研修を7回、セルフケア研修を7回行った。両研修ともに「非常に有意義であった」及び「有意義であった」が約90%と好評であった。 (3) コロナ禍であり留学生の新規相談者は18人とコロナ前よりも低かった。は外国人研究者は3名とほぼ例年通りであった。サービスを有効に用いてメンタルヘルス支援を行った。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。